

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成13年7月16日 第16報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	32		
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	8800		
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	80		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	7		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	10	0.1	0.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	40	0.4	1.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	8919	99.4	98.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	8969	総体積 (μm^3)	5.75E+06
種 類 数	6		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

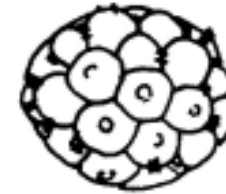
動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
甲 殻 類 <i>Bosmina longirostris</i>	2000

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
甲 殻 類 その他の甲殻類	600

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



Coelastrum cambricum
(ケラスツルム)
緑藻綱

シノビウムは球形であり、大抵32細胞からなる。各細胞は外方に向かって1本の短い截頭突起を出している。

動物プランクトン第1優占種



Bosmina longirostris
(ゾウミジンコ)
甲殻類

体は丸みを帯び、吻端の第1触角が長い
ためゾウミジンコと呼ばれている。

コメント:

植物プランクトンはケラスツルムが増えて、総細胞数は増加した。本種は昨年度、北湖で多かった。動物プランクトンは引き続きゾウミジンコが2000個体/lと多く、次いで前回も見られたネコゼミジンコ(*Ceriodaphnia quadrangula*)が増加して600個体/lとなった。